

明治教育の呪縛

——誤解させられてきたいきさつ——

目次

まえがき——ヒントは江戸時代にある……………

第一章 文部省の変質……………

1. 奈良時代の「文部省」は教育の官庁ではなかった
2. 「教部省」は使えなかった
3. 「学問」のために設立した文部省
4. 「文部」採用の意味
5. 「教育」の省に変質した文部省
6. 戦後改革では改称にいたらなかった

第二章 学校の変質……………

1. 「生長」のための試行的小学校
2. 「学問」のために設立した学校
3. 「学問」政策下の「立身出世」の鼓舞
4. 学校焼き討ち事件の拡大と鎮圧
5. 「教育」政策下の「立身出世」の鼓舞
6. 「夢」に破れた人への慰め
7. 学校は「教育」を受けるところではなかった

第三章 「明治教育」の生成……………

1. 孟子が創った「教育」は国王の「楽しみ」だった
2. 中国では「教育」は使われなかった
3. 日本での「教育」の使用
4. 人民への「教育」の浸透
5. 中国は「教育」を日本から逆移入した
6. 各種事辞典における「教育」の定義

7. 『広辞苑』の「教育」の定義は変化している

第四章 “Education”訳の詐偽

1. 各種辞典における“Education”の定義
2. ウェブスターにおける“Education”の定義は発展している
3. “Education”の鍵概念は「開発」と「職業」である
4. イギリスでは労働者の学習から学校が発展した
5. “Education”観の欧米における実情
6. 徒弟制度による仕事の伝承が“Education”的だ
7. 日本人の「教育」好みと「訓練」嫌い

第五章 「教育」と“Education”の同定

1. 「教育」と“Education”との出会い
2. 中国では“Education”は「教育」ではなかった
3. 中国では「教育」は“Education”ではなかった
4. 「教育」と“Education”は同義でなかった

5. 福沢諭吉は「発育」であるべきと主張した

6. 「教育勅語官定英訳」による「教育」と“Education”との同定

第六章 「普通教育」の創造

1. 「普通教育」の概念と妄信
2. 「日本国憲法」における「普通教育」の利用
3. 国際的規程に無い「普通教育」
4. 「普通教育」普及の背景と性格
5. 『理事功程』での初出と『米欧回覧実記』による普及
6. 始まりはフルベッキの“popular education”

あとがき——これからの人間形成のために——

図版出典